

たかさう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

2024年発行
第214号
11月号

地域連携症例検討会

脳神経外科・神経内科 2～3

脳神経外科部長 田中 志岳
神経内科部長 平柳 公利

診療科紹介

産婦人科 4

産婦人科部長 青木 宏

医療安全管理室の活動について

..... 5

医療安全管理係長 藤井 由美恵

緩和ケアニュース 6

栄養だより 7

登録医大会を終えて 8

医師紹介コーナー 9

地域医療連携登録医のご紹介 10～11

セカンドオピニオンのご案内 12～13

外来診療担当表 14～15

院長閑話 16

少林山の
紅葉

提供：患者サポートセンター 松井 小百合

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36
代表 (TEL) 027-322-5901
URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)
(TEL) 027-322-5835
(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

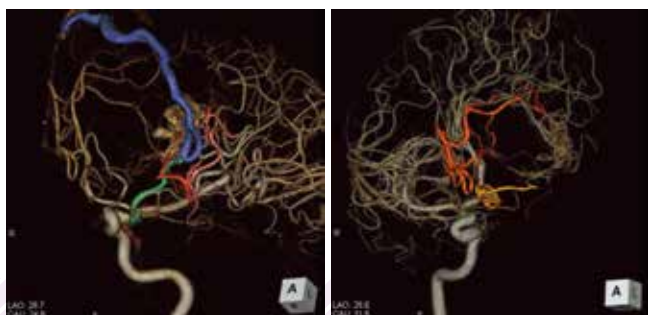
地域連携 症例検討会

脳神経外科

この度は御紹介頂きました左前頭葉皮質下出血症例の経過を報告いたしました。外科的治療に至る過程での当科の治療方針決定方法やその考え方、またリハビリスタッフや看護師を中心としたチーム医療の重要性も報告させて頂きました。



一般的に大脳左半球は優位半球とされ、言語野など日常生活を送るうえで重要となる機能が存在しています。今回の症例では出血原因として脳動静脈奇形(AVM)が判明し、再出血予防としての治療も同時に検討する必要性がありました。AVMの出血危険度は年間約2%とされますが、出血症例ではその後1年の再出血危険度は6~17.8%と非常に高くなることが知られています。外科的治療では左前頭葉弁蓋部(ブローカ野：言語野)を操作する必要があり、当科で毎週行っている多職種カンファレンスで脳機能について、特にリハビリスタッフから有効な検査方法についての提案がありました。また看護師も医師の診察以上の詳細な患者の愁訴・情報をこのカンファレンスで報告しており、本症例では言語機能障害のリスクは高くないと判断し最終的には手術に至っています。



脳神経外科・神経内科領域疾患の 診断と治療の連携

手術は血管内治療と開頭摘出術を同時に実施しています。当院では県内唯一(と理解していますが)の血管内治療と開頭手術ができるハイブリット手術室を有しており、本症例でもその有効性が発揮されました。

当科では毎日カンファレンスを行い、脳外科医間で情報共有を図っています。基本的に脳にメスを入れることは治療としては最終手段であることを前提とし、病気の自然歴、再発リスク、そして治療侵襲性を全員で協議し患者にとって最適な治療を提示・実施するようにしています。本症例では侵襲性も十分に検討し治療を実施しましたが術後も高次脳機能障害は悪化することなく、むしろ注意障害は改善し社会復帰されています。



脳卒中を始め当科の多くの患者さんは基礎疾患を有している場合が多くあります。脳外科的な疾患が安定化しましたらできるだけ近医の先生方に外来診療をしてもらえるよう紹介させて頂いております。今後は情報共有を院内のスタッフだけでなく近医の先生方と広くしてゆきたいと考えておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。なお、当科外来は一応の専門性はありますがどの曜日でも対応可能です(水曜日は手術日のため緊急のみの対応)。急を要する場合には救急外来で対応可能ですので御紹介頂けると幸いです。



座長
石黒 幸司 先生
(もてき脳神経外科)

脳神経外科部長
田中 志岳
(左)



神経内科部長
平柳 公利
(右)



神経内科

先般の第48回地域連携症例検討会では、多数の先生方にご参加をいただき、誠にありがとうございました。当科からは「辺縁系脳炎が疑われステロイド加療が一時的に奏功した Gliomatosis cerebri の1例」を提示させていただきました。当初から辺縁系の腫脹目立っており、自己免疫性辺縁系脳炎との鑑別が非常に難しかった症例でした(図1)。

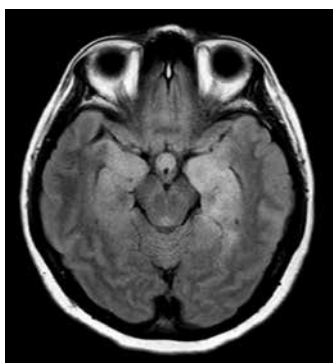


図1

当院は高崎・安中医療圏で神経内科としての入院・加療が可能な唯一の医療機関です。このため、今回の症例のような原因不明の意識障害の患者さんの精査・加療を目的に他の医療機関から患者さんを紹介(転院)していただくことも多くございます。

地域の先生方のクリニックから意識障害として患者さんを紹介いただくことは稀ですが、人口の高齢化に伴い近年では高齢者の意識障害の原因や認知症の類似症状として、非痙攣性てんかん重積(nonconvulsive status epilepticus: NCSE)や一過性てんかん性健忘(transient epileptic amnesia: TEA)といった病態が重要視されています。いずれもてんかんの発作でありながら、いわゆる「痙攣」や「意識消失」を伴わないため、てんかんの発作が疑われず、しばしば診断が遅れることが問題となります。

このような病態の患者さんは、まずかかりつけ医を受診することが多く、ご家族から「昨日からずっと話がかみ合わなくて落ち着きがない様子が続いています。」「最近になって急に記憶が断片的に抜け落ちるようになりました。」といったような相談がありましたら、速やかに当科へご紹介いただきたく存じます。いずれも頭部の画像検査(CT, MRI)では異常を認めず、脳波検査が診断の決め手となります(図2)。

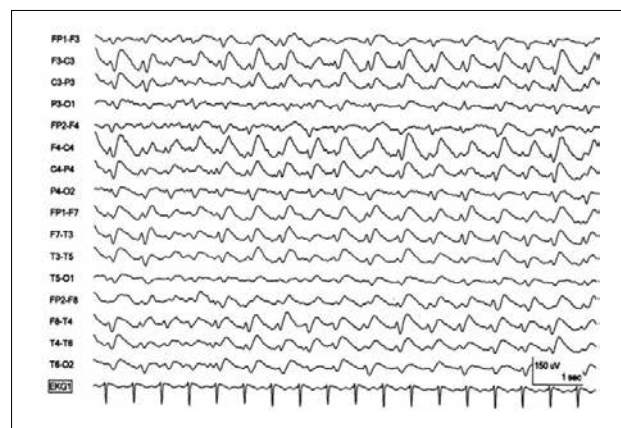


図2

われわれ脳神経内科医は、脳卒中、頭痛、てんかん、認知症などのcommon diseaseから、神経難病のような希少疾患まで幅広く診断・治療を行っております。仮に想定される疾患がなかったとしても、先生方が患者様の診療を行っていて「何かおかしい」と感じられた際には、患者さんを当科へ紹介いただくこともご検討いただければ幸いです。



診療科紹介

産婦人科

産婦人科部長 青木 宏



産婦人科は、高崎安中医療圏を中心とし、西毛地区のがん拠点病院として婦人科悪性腫瘍の診断治療を、また地域周産期センターとして産科医療を中心に行っています。

婦人科悪性腫瘍の治療 子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌などの手術、化学療法、放射線治療を行っています。子宮体癌については1A期に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術も行っています。最近は免疫チェックポイント阻害剤や分子標的薬等の新規薬物での治療も可能となっており、今までの抗がん剤とは異なる重篤な副作用が現れる可能性もあるため、患者さんとも相談し最適な治療を行えるよう努力をしております。子宮頸癌の放射線治療は、県内3か所のみで可能な腔内照射装置もあり、放射線治療科と連携して同時化学放射線治療なども行い治療成績の向上を目指しています。

悪性腫瘍ばかりではなく、子宮筋腫や卵巣嚢腫などについても、症状や画像診断なども組み合わせて手術（腹腔鏡、ロボット手術も可能です）や薬物療法など、患者さん毎に治療法を相談させていただきます。また女性へ

ルケアとし月経不順や更年期障害等の診療も施行しております。治療後は、地域の先生方をお願いしてフォローアップや薬物療法などをお願いすることもあります。

周産期医療 地域周産期センターとして、小児科とも連携し妊娠31週からの切迫早産などの妊婦さんを受け入れています。また、総合病院として、合併症のある妊婦さんの分娩も可能です。救急時も安心して分娩していただけるように、小児科、麻酔科、救急科、画像診断科などと連携できる体制が整っています。産後出血なども、必要であれば画像診断科によるIVRも行います。分娩希望の方に限っては紹介状なしでも受診いただくことが可能です。安心安全な出産、育児をしてもらえるよう、外来の健診時から医師だけではなく助産師による相談外来も行い、分娩後の育児相談も含めフォローアップ体制を整えています。

今後も登録医の先生方とも連携し、高崎を中心とした西毛地区の産婦人科医療に貢献できるよう努力して参ります。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



医療安全管理室

の活動について

医療安全管理係長 藤井 由美恵

医療安全管理室では、「患者さんから信頼される病院づくり」をモットーに、患者さん一人ひとりが安心して治療を受けていただけるように活動する部署です。病院で働くすべてのスタッフが患者さんの安全を守るために協力し、最良の医療を提供することを目指しています。

●患者確認行動の徹底について

今年度の医療安全の活動方針は、『指差し呼称で安全確認』です。本人確認はすべての患者安全の基本となります。薬の準備や書類の確認、カルテへの記載などあらゆる場面で何度も行うことで患者さんの安全を守っています。当院では、全職員を対象に定期的な研修を開催しています。ここでは最新の医療安全情報や具体的な事例を基に、実践的なスキルを学びます。そして実際の場面でそれらが正しく実施できているか、多職種チームで定期的なチェックを行っています。

患者さんには、診察や検査、処置を行う際、ご本人であることを確認させていただくために、フルネームでのお名前と生年月日を名乗っていただいています。何度も名乗っていただくことがありますが、この行動こそが医療安全の大切な一歩となります。医療安全の安全性を高めるためにも、ぜひご協力をお願いいたします。

高崎 花子です
令和6年4月1日です

お名前と生年月日をお願いします



●患者・家族の相談対応について

患者さんやそのご家族の声はとても大切です。医療安全管理室では、患者さんやご家族からの相談やご意見を受け入れる窓口を設置しています。相談内容に対しては迅速かつ丁寧に対応し、「ここなら安心して治療が受けられる」と感じてもらえるように努力していきます。どんな小さな不安や疑問でも、どうぞ安心してお気軽にご相談ください。



緩和ケア ニュース

がん診療連携拠点病院 緩和ケアチーム

麻薬っていつからあるの？

人類にとって最も古い医薬の記録であるとされたエーベルス・パピルス（紀元前 1550 年ごろ）には、ケシの処方があったと記録されています。

現代のような薬として使われ始めたのは、1804 年 ドイツの薬剤師 F.W. セルチュルナーがアヘンから有効成分を取り出すことに成功したことから始まります。

モルヒネという名前はギリシャ神話に登場する夢の神モルペウスを由来に命名されました。



ケシの実

ケシの実からとれた果汁を乾燥させたものがアヘンです

麻薬は、戦争の引き金（アヘン戦争）や乱用による死亡率の増加など社会問題へと発展した歴史があります。

現在は法律で乱用防止や流通について安全に使用ができるように規制されています。

様々な薬剤の工夫で乱用を防止しています！

例) オキシコンチン® TR錠

オキシコンチン®TR 錠は錠剤がとても硬く、粉末まで砕くことが困難な製剤となっています。

また、溶かすとゲル化するため、注射による投与が困難な工夫をしています。

❗ 口に含むとゲル化が進むため速やかに多めの水で服用が望まれます！

例) オキシドン徐放錠NX

NX → Naloxone ナロキソンの英語の略です。

乱用防止を目的に麻薬拮抗薬のナロキソンが含まれています。

溶かして注射した場合には、麻薬が作用しないようになっています。

❗ ナロキソンは口から飲んでも体内には吸収されず、痛み止めとしての効果に影響はありません。



痛みは取り除いたほうが我慢するより長生きするという結果が報告されています。主治医と相談しながら自分に合った薬剤で痛みのコントロールをしていきましょう。

栄養だより



world diabetes day

11月14日は「世界糖尿病デー」です

糖尿病の脅威に対応するため、1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）が制定しました。多くの人に糖尿病について考えていただくために、世界各地の著名な建造物をブルーにライトアップした啓発活動を行っています。

糖尿病予防のためには、食事量と食事バランスに注意しましょう

1日の適正エネルギー量はこのように計算します。

$$\text{1日の適正エネルギー量} = \text{標準体重} \times 25 \sim 30\text{kcal}$$

（標準体重は「身長(m) × 身長(m) × 22」で算出）

バランスの良い食事とは、主食・主菜・副菜が揃っている食事です。

- 主食** 米飯、パン、麺など
- 主菜** 肉や魚、卵のおかず
（片手の平にのるサイズが1食の目安です）
- 副菜** 野菜や海藻類、キノコ類
（生野菜なら両手の平にのる量、加熱野菜は片手の平にのる量が1食の目安です）



こんな食習慣はありませんか？

～血糖値を上げる食習慣～

欠食が多い

1日3食食べるようにしましょう。まとめ食いは血糖値が上昇しやすくなります。また、主食も3食取り入れる事で血糖値は安定します

お菓子やジュースをよく食べる

お菓子やジュースには糖質が多く含まれています。嗜好品は200kcal/日を目安にしましょう

野菜の食べる量が少ない

野菜や海藻類に含まれている食物繊維は、血糖値の上昇を緩やかにする効果があります。野菜ジュースでは代用できないので注意しましょう

糖質+糖質の組み合わせが多い

おにぎり+パン、ラーメン+ご飯など糖質が多い組み合わせは血糖値を上昇させる要因になります。主食は1品にし、肉や魚・野菜を取り入れてみましょう

小さなことからコツコツと長く取り組んでいくことが将来の健康につながります。できることから行ってみましょう。

第17回 高崎総合医療センター 登録医大会 を終えて

地域医療支援・連携センター長 佐藤 正通



2024年10月3日雨天にて足下が悪い折、300名を超える医師の方々をお迎えし、第17回高崎総合医療センター登録医大会を開催致しました。普段は診療上の連携をもって地域内の医師は繋がっておりますが、登録医大会は医師達が親睦を深める場であり、院内外を問わず、普段では見られない医師達の笑顔を見る事が叶いました。閉会の挨拶が困難な程の大盛況ぶりには圧倒された次第でございます。ご参集された皆様には、改めて感謝申し上げます。

遡れば2020年から2022年までコロナ禍のため、登録医大会を開催することは困難でありました。ようやく昨年より、諸兄のご理解により、登録医大会を再開することが叶いました。そんな折開催された昨年度登録医大会は主催者側の我々も、ご参加された方々も、慎重かつ遠慮気味であったことは否めなかったと思います。今年の登録医大会では数年間蓄積されたエネルギーを昇華するべく、医師達の力強い躍動感と未来を見据えた建設的な意欲を体感することができました。私は第1回から参加させて頂いておりますが、高崎総合医療センター史上、類を見ない盛況ぶりであったと感じております。



大会中ご挨拶頂きました医師会長の諸先生方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。当センターからは、①腎臓・膠原病リウマチ内科創設、②ロボット手術について、③救急搬送患者の地域連携診療、④当センター医療機器紹介および地域医療支援・連携センターの取り組み等を紹介・報告させて頂きました。連携実績（紹介・逆紹介件数）についても報告させて頂きましたように、コロナ禍前と比較しましても着実に連携診療実績は伸び続けております。医師・医療者による地域医療の診療パフォーマンスは、地域連携により最大化することが可能となります。この度の登録医大会は、そのような認識を再確認でき、また地域を担う先生方と共に、これからの時代を前に進む勇気を与えて頂いた大会でありました。これからもどうぞ高崎総合医療センターを宜しくお願い致します。

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



脳神経外科

とさか みさと
登坂 美里

2024年3月から高崎総合医療センター脳神経外科に勤務させていただいております、登坂美里と申します。群馬県前橋市出身で群馬大学医学部を卒業後、前橋赤十字病院にて初期研修を行い群馬大学脳神経外科に入局しました。高崎総合医療センターでは急患を主に担当させていただき、上級医とともに診療を行っております。

脳外科の対象となる疾患は脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷など幅広く、緊急性の高い疾患が多いことが特徴です。当院の脳外科は5人体制で夜間休日でも脳血管内治療、開頭手術等に対応しております。今後も地域医療に貢献できるように精進いたします。

当科疾患の特徴として突然発症し重篤な後遺症が残り、自宅生活が困難となる方も多くいらっしゃいます。そんな中患者様が少しでも快適に過ごせるように、親身で丁寧な医療を心がけていきたいと思っております。また患者様の状態に応じた最善の治療を提供できるよう日々研鑽を重ねて参る所存です。至らない点も多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



脳神経内科

いまいずみ じゅん
今泉 純

はじめまして。令和6年4月から高崎総合医療センター脳神経内科に入職いたしました今泉 純と申します。群馬県太田市出身で太田高等学校を卒業後、群馬大学医学部に入学しました。県内の病院で初期研修を行った後、脳神経内科として群馬大学医学部附属病院に勤務し、今年度から当院に赴任いたしました。当院での勤務は初めてで日々様々な刺激を受けています。

脳神経内科では脳梗塞、てんかん、認知症、パーキンソン病等の変性疾患、末梢神経障害等、多彩な疾患を診療させていただいております。患者様の訴えも「手が動かみにくい」、「手足がしびれる」、「物忘れが気になる」、「転びやすい」など多岐に渡ります。難しい病態も多く、すぐには診断に至らないことも多い診療科だと感じています。患者様に寄り添いながら、困っている症状に耳を傾け、丁寧に身体診察を行う中で、診断や治療に繋げられるよう、日々精進いたします。至らない点も多いかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

川島内科クリニック

院長あいさつ

平成6年6月に開院して以来、多くの皆様からご支援をいただき、地域の皆様とともに歩んできました。

当クリニックは内科（呼吸器内科、消化器内科、循環器内科）、小児科、アレルギー科を主体として診療を行っています。

レントゲン、内視鏡（経鼻内視鏡）、超音波、心電図、肺機能、骨密度などの各種検査を、必要に応じて随時、行っています。

小児科では各種の予防接種のほか、予約制で乳幼児検診をしています。

健診では渋川市、吉岡町、榛東村の検診のほか、各種の健診や人間ドック、企業健診等も行っています。予防接種は2ヶ月の乳幼児から、渡航者の予防接種、高齢者の予防接種まで、幅広く対応しています。



川島内科クリニック
院長
川島 崇

診療科・病院案内

**内科・消化器内科・循環器内科
呼吸器内科・小児科・アレルギー科**

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(14:30~18:00)	●	●	●	△	●	▲	△

▲：土曜日午後の診療時間は 14:00 ~ 17:00

群馬県渋川市渋川1770-1
TEL: 0279-23-2001

橘内科医院

院長あいさつ

地域の皆様のホームドクターとして親しみやすい診療所をモットーに開院しております。



橘内科医院
院長
橘 正道

診療科・病院案内

内科・循環器科・漢方外来

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~13:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:30)	●	●	往診のみ	◆	●	▲	△

◆ 第2、4、5の木曜日の午後は休診です。

● 金曜日は代診で女性医師になります。

▲ 土曜の午後は 17:00 迄

群馬県高崎市宮元町273
TEL: 027-322-3133

内科一般に西洋医学と東洋医学（漢方治療を中心に）を使ったオーダーメイドの医療を目指しております。また往診もおこなっております。

高崎タワークリニック 眼科・泌尿器科

院長あいさつ

当院は2020年4月1日、高崎駅東口に新規開設いたしました。当院は地域に根ざし、安心してかかっていただけけるクリニックを目指してまいります。



高崎タワークリニック
院長
齋藤 勇祐



群馬県高崎市東町32-1 ブリリアタワー高崎2F
TEL: 027-384-8241

診療科・病院案内

眼科・泌尿器科

▲：眼科………8:00～14:00
泌尿器科…9:00～12:00
第3土曜は休診日

*眼科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:00～13:00)	●	●	●	/	●	▲	/
午後(16:00～18:30)	●	●	●	/	●	/	/

*泌尿器科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(8:00～13:00)	●	●	●	/	●	▲	/
午後(16:00～17:30)	●	/	●	/	/	/	/

当院では一般眼科診療/泌尿器科診療から学校検診、企業検診のご相談、膀胱内視鏡検査、予防接種、眼科各種レーザー治療を行っております。

鈴木外科病院

院長あいさつ

「安心・安全・親切」な地域医療を目指して、常に患者さんの立場に立った医療を心がけています。

病気の早期発見・早期治療をモットーとしており、マルチヘリカルCT装置、乳房撮影装置、MRI装置などを導入し高画質・検査時間の短縮などにつながっています。内視鏡による検査と治療は、前投薬を静脈注射することによって、苦痛も少なくなります。早期胃がん(粘膜内がん)の切除、前がん状態である大腸ポリープや早期大腸がん(粘膜内がん)の切除等、内視鏡による治療を行っています。

私たちは、地域医療を支える「外科のかかりつけ医」という理念を実現するために、日々新しい医療情報の習得と医療設備の導入に力をそそいでいます。



鈴木外科病院
院長
鈴木 和喜

診療科・病院案内

外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科 麻酔科・リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00～12:30)	●	●	●	●	●	●	/
午後(15:00～17:30)	●	●	●	●	●	/	/

埼玉県本庄市児玉町八幡山293
TEL: 0495-72-1235

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、精神科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
脳神経外科、呼吸器外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	家田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 <small>予約のみ</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通
栄養食事指導外来		植原 大 介 <small>午後</small>	(田村 耕 成) <small>予約のみ</small>	(合田 史 史) <small>午後：予約専門外来</small>	
腎臓・膠原病リウマチ内科	<交代制> <small>午前：新患</small>	荒木 祐 樹 <small>午前：新患</small>	渡辺 光 治 <small>午前：新患</small>	荒木 祐 樹 <small>午前：新患</small>	中里見 征 央 <small>午前：新患</small>
血液内科	(三井 健 揮) <small>午後</small>				
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	岡田 研 也 <small>午前</small>	植原 良 太 <small>午前</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>	渋沢 信 行
脳神経内科	清水 千 聖 <small>午前</small>	平柳 公 利	唐澤 将 紀 聖 <small>午後</small>	柴田 真	今泉 純
呼吸器内科	中川 純 一 <small>午前</small>	細野 達 也	小林 頂	中川 純 一	細野 達 也
消化器内科	井上 俊 篤 <small>午前</small>	竹村 仁 男	田口 浩 平 <small>午前</small>	竹村 仁 男	小林 夏 緒
	長沼 篤 <small>午前</small>	星野 崇 <small>午前</small>	柿崎 暁 <small>午前</small>	長沼 篤 <small>午前</small>	星野 崇 <small>午前</small>
	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>
	上原 早 苗 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	書上 愛 <small>午前</small>
	成清 弘 明 <small>午前</small>	成清 弘 明 <small>午前</small>	井戸 健 太 <small>午前</small>	小林 倫太郎 <small>午前</small>	小林 倫太郎 <small>(紹介のみ)</small>
	石原 弘 <small>午後</small>		石原 弘 <small>午後</small>		
	(井戸 健 太) <small>午後</small>		小林 倫太郎 <small>午後</small>		
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / 小林	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌 樹 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small>	大駒 直 也 <small>午前</small>	広井 知 歳 <small>午後：不整脈外来</small>	福田 延 昭 <small>午前</small>	太田 昌 樹 <small>第2, 4週午後：ペースメーカー外来</small>
新患外来 (午前)	村田 智 行 <small>午前</small>	高橋 伸 弥 <small>午前</small>	太田 昌 樹 <small>午後：不整脈外来</small>	羽鳥 直 樹 <small>午前</small>	小林 紘 生 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small>
心不全総合外来		柴田 悟 <small>午後</small>	村田 智 行	羽鳥 直 樹	柴田 悟 <small>午前</small>
術前外来					大駒 直 也
精神科	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>
	内田 亨 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午前</small>
	小川 百花 <small>午後</small>	斎藤 淑 人 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>	植原 実 紅 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午前</small>
	(荒川 篤 康) <small>午前</small>	(神尾 綾 乃) <small>第1, 2, 3, 5週のみ 第4週午後</small>	加藤 裕 之 <small>第1, 3, 5週午後</small>	(西澤 拓 哉) <small>午後</small>	坂本 康 大 <small>第3週は午前のみ 第3週午後のみ</small>
			(滝沢 琢 己) <small>第2, 4週午後</small>	(岩脇 史 郎) <small>午前</small>	(浅見 雄 司) <small>第3週午後のみ</small>
小児外科	(西明・高澤慎也) <small>第1, 3週午後</small>	(西明・高澤慎也) <small>第4週午後</small>			
外科 (消化器)	坂元 郎 郎 <small>午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来</small>	小川 哲 史 <small>午前</small>	家田 敬 輔 <small>午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来</small>	平井 圭 大 郎 <small>午前：通常 / 午後：肝胆脾専門外来</small>	宮前 洋 平 <small>午前：通常 / 午後：下部消化管専門外来</small>
栄養サポート外来	斉藤 秀 幸 <small>午前：通常 / 午後：食道専門外来</small>	真木 茂 雄 <small>午前</small>	生方 泰 成 <small>午前：通常 / 午後：上部消化管専門外来</small>		栗山 令
禁煙外来		小川 哲 史 <small>午前</small>			
ストーマ外来		小川 哲 史 <small>午後</small>			
			第2, 4週午後・予約	予約	

※2024年10月1日より「神経内科」は「脳神経内科」に名称が変更となりました。

01 外来診療受付時間

8:30~11:00まで

(予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでいるお薬をご持参ください。

02 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはホームページをご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

()の医師は非常勤です。

令和6年11月1日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	柴田康博 栗原聰太	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前：通常 / 午後：不妊外来</small>	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small>	鯉淵幸生 高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small>	鯉淵幸生 高他大輔 本田周子	(荻野美里) (青木麻由) 交代制 <small>第2,4週午後：予約 第1,3,5週午後：予約</small>	高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前 第1,3,5週午前</small>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 <small>午後</small>	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前 午後</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>第1,3週午前 / 第5週午前・午後 第2,4週</small>	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>午前 午後</small>	<手術日>
整形外科 骨粗鬆症外来	荒毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 齋藤和弥	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 齋藤和弥	新井厚 茂木智彦 <small>午後</small>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <small>午後</small>	中村英玄 山田有美 <small>午後</small>	中村英玄 山田有美 <small>第1,3,5週午前 / 第2,4週午後 第2,4週午前 / 第1,3,5週午後</small>	<手術日> 山田有美 <small>午前</small>	中村英玄 <small>午前</small> <手術日> <small>午後</small>
脳神経外科	田中志岳	齋藤貴寛	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科	交代制 <small>午前</small>	岡田悦子 伊藤加奈 <small>午前</small>	岡田悦子 太田内莉 <small>午前</small>	伊藤加奈 (井上千鶴) <small>午前</small>	岡田悦子 太田内莉 <small>午前</small>
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 宇津木秀勅	<産後健診> (井上直紀) <small>午前</small>	小田洋樹 (金井眞理) <small>午前</small>	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 <small>紹介・予約</small>	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎	笠井健一郎 <small><手術日></small>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (堀込瑛介) <small>午前</small>	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) <small>午前</small>
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 <small>紹介・予約</small>	<手術日>	田中斉 <small>紹介・予約</small>	柴野正康 田中斉 <small>紹介・予約</small>	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 (倉持眞理子) <small>第1,3,5週のみ、紹介・予約 紹介・予約</small>	稲川元明 (倉持眞理子) (荒井亮・辻野啓一郎) <small>紹介・予約 第2,4週のみ、紹介・予約</small>	稲川元明 (倉持眞理子) <small>紹介・予約</small>	稲川元明 <small>紹介・予約</small>	稲川元明 (倉持眞理子) <small>紹介・予約</small>

※2024年10月1日より「耳鼻いんこう科」は「耳鼻咽喉科頭頸部外科」に名称が変更となりました。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時ご連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただけますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》
FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.41

山藤の前に山藤なく…



院長 小川 哲史

イラストレーターの山藤章二氏が、去る9月30日に老衰のため87歳で亡くなりました。今の若者は知らないかもしれませんが、山藤氏は昭和から平成にかけて政治家や芸能人のユーモアと風刺をきかせた独特の似顔絵で一世を風靡した人です。特に「週刊朝日」に通算2260回も連載した「ブラック・アングル」は、最後のページに載っていたため「週刊朝日を後ろから読ませる男」とも称されました。また山藤ファンを自称する作家の山口 瞳氏はそのエッセイの中で「山藤の前に山藤なく、山藤の後に山藤なし」と称賛しています。

有名な作品はたくさんありますが、あの時代の政治家には田中角栄をはじめ、福田赳夫や大平正芳、三木武夫など非常に強烈な個性と顔(!)を持った人物がたくさんいました。そのため題材には困らなかったようで、本人も「時の利とヒトの利を得ていた」と言っています。1976年の田中角栄元首相のロッキード事件逮捕を題材に、同年に亡くなった作家の武者小路実篤氏が色紙によく描いた野菜の作品をパロって、同事件での金の繋がりの3氏、角栄、児玉、小佐野氏を「仲よき事は美しき哉」として描いた作品は、その着想の妙に今でも感嘆いたします。

極めつけの傑作は、岸田劉生画伯の代表作「麗子像」の顔が大平正芳首相の顔になった「麗子微笑」でしょう。一度見たら忘れられず、夢にまで出てきそうです。さらに老猿のような福田赳夫の顔も強烈でした。また当時、さまざまな分野で活躍していた野坂昭如氏の顔もひどかった。黒サングラスにプレイボーイ風の野坂氏でしたが、彼をして「山藤の描くわがご尊顔はヒトというよりチンパンジーに近いのだが、ふと鏡を見れば、映っている顔はどんどん山藤の描く顔に似てくる」と。

当時のマスコミ、とくに出版界では作家を尊敬するのが基本的な価値観でしたが、山藤氏は「作家を必要以上に尊敬しないこと」を旨とし、また当時一般的ではなかった「イラストの中に書き文字、言葉を入れること」を「山藤流イラスト」の基本としました。その独自の作風に彼のエスプリのきいた抜群のユーモアセンスが加わったことで、斬新なイラストの世界が出来上がったのでしょう。

あの時代は週刊誌の全盛期で、山藤氏のイラストをはじめ様々な作家のコラム・エッセイも大変人気がありました。山口、野坂の両氏は直木賞作家の小説家ですが、両氏ともエッセイの名手でもありました。山口氏は「男性自身」シリーズ等でサラリーマンの日常的な悲哀からマナーやエチケットに関する若者への苦言など、また野坂氏は自身が言うように「僻(ひが)み、嫉(そね)み、妬(ねた)み」で書かれたものや、「火垂るの墓」にも描かれた原罪意識をもとに一般的なイメージと異なる小心者である自身を生真面目に記したものなど、両氏のエッセイは今でも色あせることなく面白く読めます。

現在、出版業界を含むマスコミの自主規制や個人情報保護の観点などから、毒のきいた辛辣なエッセイが少ない気がします。そもそも放送禁止(自粛)用語とは、法的に禁止されているわけではなく、あくまでもメディア側、マスコミの自主規制によるものです。差別的な言葉、暴力的な言葉、卑猥な言葉など、いわゆる“不適切な言葉”や“公序良俗に反する”言葉、表現が対象となりますが、“不適切”の定義は曖昧で、しかも時代とともに規制が増えてきています。前時代的な言葉や慣習が見直され、現代にはふさわしくないと判断されるのでしょうか、ある団体等からクレームがあると、今も世間一般では日常的に使われているものでも、すぐに規制しているような気がします。そのうち、世の中、上から下まで忖度と自主規制の事なかれ主義となり、辛辣な言葉や卑猥な表現で笑いを取る、いわゆる昭和的なものは除外、敬遠され、まさに「…山藤の後に山藤なし」の世の中になるような気がします。

(10月15日)

Information

行事などのお知らせ

第50回地域連携症例検討会

腎臓・膠原病リウマチ内科領域疾患の
診断と治療の連携

日時：2024年11月14日(木)
18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター
腎臓・膠原病リウマチ内科部長
中里見 征次

対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

第144回カンサーボード

日時：2024年11月28日(木)
18:00~

診療科：放射線科
会場：高崎総合医療センター 講堂
対象：医療従事者
※申し込み不要

登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。
地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram

高崎総合医療センター案内図



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター